

2.進路選択に向けて

「就活はいやだけどやるしかない」「仕事はつらいものでしかない」「ずっと学生でいたい」。みなさんの中にもそう思っている人は少なくないでしょう。でも、いつまでも大学で留年したいという人はそう多くはないですね。

モラトリアムというのは「執行猶予」を意味する言葉で、何かをするまでの時間的猶予のことを指します。学生のみなさんが社会人になる時の状況は残念ながら選べませんが、大学生である時間を得ることによって、社会に出るまでに自分に何ができるか、何をしたいか、将来どこでどんな生き方をしたいのか、を考える猶予が与えられているのです。そしてこの将来の生き方を決定することが進路選択決定です。「今はあえて就職しない」という選択も進路選択の一つです。大事なことはこれからどんな人生をあなたが生きたいかのビジョンを持つことです。人生は思い通りにいかないこともあるかもしれません。けれども思い描かなければ思い通りの人生が何かもわからないのです。

自己分析や企業分析などで忙しくなる前に、一度手を止めて時間を忘れ、自分が何になりたかったか、どこへ行きたかったか、何をしたかったのかを思い出す時間を持つことをお勧めします。日常を離れて自分と対話をするのもいいでしょう。家族に自分が小さかった頃のことを訊くのもいいでしょう。昔のアルバムを開いたり、信頼できる友人や、大学の友人に、私はどんな子だった？最初に会った時どう思った？仲良くなってから印象変わった？私のいいところってなんだろう、などを訊いてみてください。自分で思っていた自分とはまた違う自分の一面が見えてくるはずです。自分の顔を見る時に鏡がなければ見えないのと同じように、自分のことは自分だけではわからないものなのです。わかっていると思っている自分はほんの一面にすぎません。あなたは自分で思っているよりもっと、思いやりのある人かもしれません。もっと、ユニークで楽しい人だと思われているかもしれません。あるいは一緒にいるだけでほっとする人だと思われているかもしれません。

就職や進路で相談に来る方の中には、「自分は何のとりえもないのに就職なんてできる気がしない」と言う人が少なからずおられます。けれどもそれは「就職するためにはこうあらねばならない」と思いこんでいる価値観で自分を縛っているにすぎません。世の中はあなたが思っているよりずっと多様な人材を求めているのです。あきらめずに探し求めていけば、あなたの居場所はきっと見つかるはずです。